

Event

スズキ竜洋コースで ライテクを学ぶ

6月15日、元世界耐久選手権チャンピオンである北川圭一さん主催の「スズキ北川ライディングスクールin竜洋」に、編集部から塚本が参加してきた。

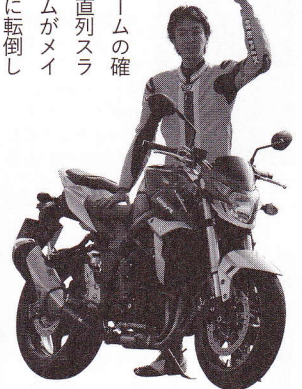
このスクールは、「耐久レースで得たライディングテクニックは、日常のセーフティライディングにも活用できる」という北川さんの考えのもと、5年前から継続して開催。危機回避能力の向上をメインテーマにしながら、バイクを上手に操る上で重要な「向き変え」のコツをつかめるようなカリキュラムが組まれている。

レッスン内容は、フォームの確

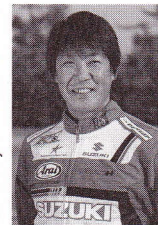
認から始まり、8の字や直列スラローム、コーススラロームがメインとなる。そして、絶対に転倒しない「アウトリガー」という補助輪を装着したバイクを使って旋回時のフォームを練習。この体験は、ここでできないものだ。

レッスン中は、経験豊富なインストラクターがしっかり見てくれているので、相談した時にすぐにアドバイスをもらうことができる。夢中になってライテクを練習できる場所。それが、スズキ北川ライディングスクールだ。

レベン
プー!



世界耐久選手権2連覇のライダーともなると、気軽に話しかけられないのでは…と勝手に想像していた。けれど、レッスン中だけでなく、休憩時間にも参加者と楽しそうに会話する姿が印象的だった



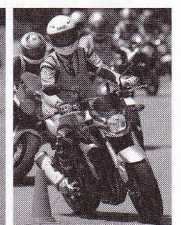
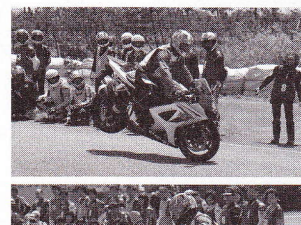
また失敗……



レッスン中に分からないことがあっても、インストラクターにすぐ相談できる。何度失敗しても熱心に教えてくれるから、レッスンを受ける側も気持ちも折れずに頑張れるのだ



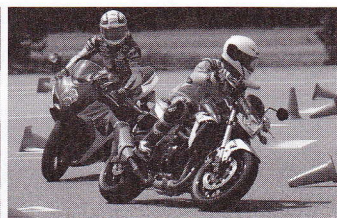
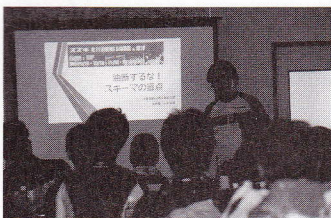
レッスンは全員でストレッチするところから始まる。その後は、北川さんがライディングフォームについて解説。重要なポイントを明確に教えてもらえるので分かりやすい。下半身でしっかりバイクをホールドするポイントは、「クルブシ」にあった



レッスンの要所で、デモ走行が行われる。8の字では津田選手がリヤタイヤを滑らせながら走って行くパフォーマンスもあり、楽しませてくれる。右の写真はインストラクターの大城さんと、塚本……



この日は2014年の第1回目の開催ということもあり、定員一杯の参加者が集まった。なかには、2年前から全開催に参加している常連さんもいた。インストラクターは、MFJ公認インストラクターの中井直道さん、交通心理学者としても活躍する山口直範さん、ST600に参戦中の津田一磨選手、スズキのテストライダー・大城光さんだ



午後は、交通心理学者の山口さんによる座学から。昼食後の眠くなる時間だが、トークが面白くて、あっという間に時間が過ぎてしまった。左下はアウトリガー装着車での体験走行。そしてスクールの締めは、竜洋コースの体験走行でレッスンの効果を試すのだ